森林整備

埼玉県　蕨市（群馬県片品村とカーボンオフセット）

- 蕨市では、森林環境譲与税をカーボンオフセットなどに活用する方針。
- 令和６年度は、群馬県片品村と「森林整備の実施に関する協定」を締結し、森林環境譲与税を活用してカーボンオフセット事業を実施。

□　事業内容

〇カーボンオフセット事業

- 蕨市が森林整備費を負担。
- 片品村において森林組合等による植樹、下草刈り、枝打ち 、除間伐、萌芽更新などの森林整備活動などを実施。
- 森林整備された土地については「わらびの森」として、両市村の交流の場として利用。

【事　業　費】420千円（うち譲与税420千円）
（譲与税は、森林整備に係る部分に充当）
【実　　績】整備面積：0.5ヘクタール

□　取組の背景

・第３次蕨市環境基本計画に基づき進めている脱炭素社会の実現に向けた取り組みの一環として、カーボンオフセット事業の実施を検討。
・平成８年に、ふれあい交流協定・災害協定を締結し、以前から交流があった片品村と協定締結に至る。

（整備地）

（整備前）

（整備後）

□　工夫・留意した点

・事業実施前に、森林整備地を担当者により複数回視察することで、整備地の理解に努めた。
・両首長によるＷＥＢ会議を実施し、事業の必要性や方向性を共有。
・５年間の協定であるため、各年度当初に、当該年度における整備計画を立てることで、中長期的な視点を踏まえ、整備を進めている。
・教育委員会と連携し、自然体験ツアーを実施し、蕨市民の子どもたちが自然に触れる機会を創出するとともに、両市村の交流の場として利用。

□　取組の効果

・森林整備によりCO2吸収量の増加を図り、また、群馬県のCO2吸収量認証制度へ申請することで、CO2吸収量を把握し、本市のCO2排出量と相殺に繋げる。
・自然体験ツアーには、蕨市内の小中学生40名が参加し、子どもたちが自然を大切にする心を育み、集団生活による異年齢間交流により生活環境の違いや考え方など相互理解しながら自主性・協調性を育むことにも繋がった。

◇　基礎データ

①令和６年度譲与額：8,328千円	②私有林人工林面積（※１）：0ha	
③林野率（※１）：0%	④人口（※２）：74,326人	⑤林業就業者数（※２）：0人

※１：「2020農林業センサス」より、※２：「R2国勢調査」 より